夕刊 常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電話1210番
編集兼印刷発行人　吉田 甫

お食事のデパート
出前迅速
不二屋
電八八六　一七五〇

白水アミダ堂改修
藤原文化の粋を生かして

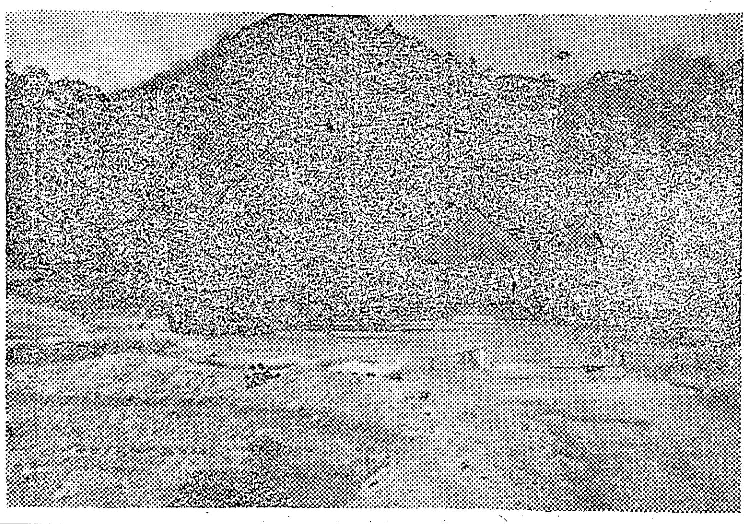
藤原時代の昔ゆかしい史せきをしのばせる内郷町の国宝白水阿弥ダ堂は参拝者、見学者で跡をたたないが、池或いは架設されている橋が昔の面影を失い老朽して渡橋に危ぶまれる状態なので、これを改修することになり十九日午前十時から町内名士多数が参列して盛大に地鎮祭を挙行した。

今度改修される橋は藤原時代の様式をそなえる凝宝付欄間の鉄筋コンクリート太鼓橋で、予算二十二万四千円で町内の大友組が請負い二十日から着工した、この橋の設計は文部省重要文化財保護委員工博藤島亥治郎氏である。

同時に着工される大池も予算三十万円を計上して修理されるが同保護委員文部次官斎藤忠氏の指示により藤原期の庭園式をしのばせるように修理されるもので、池の周囲には千本のクヒが打ちこまれるもようで完成が待たれている。

この両方が改修されれば国宝阿弥ダ堂と相まつて昔懐しい藤原時代を思わせるゆかりの地として各方面から保護されるものと期待されている。

このゆかりの地を一日も早く実現させようと同町白水字広畑地内の部落民八十余名は自発的に去る十七日午前八時から午後五時まで池の泥あげ奉仕に参加して行い関係者から感謝されている。



（写真は白水阿弥ダ堂の橋と池）

成人學級を減少
教員・教室の不足のため

中学校卒業生を対象に市内一、二、三中に併設して開校していた成人学級は上級学校受験予備教育と不良化防止の両面から市内はもちろん隣接町村からも信望を集め、近年は入学希望者も増加の一途により最も機を得た教育施設として父兄からも喜ばれていたが。

教室教員の不足から今年からは一ケ所、収容児童も五十名以内と言う少数に切りつめられることになつた。

なんとか
打つ手はないか

同成人学級は上級学校に入学出来なかつた児童に対する再受験予備教育と併せて不良化防止を目標に社会教育の一環として初め二中校に併設して発足。

当初は入学希望者も余り振わなかつたが、同学級受講者の上級学校受験率が九十パーセントに達する好成績を収めたことなどから希望者も多くなり、市内ばかりでなく最近では隣接町村からも依頼されるようになり、施設も一、二、三中に併設して直接中学校教師の指導を迎ぎ。

昨年度には市内三学級で百二名を収容、上級学校受験に際しても九十パーセントに達する好成績を収めているが、本年度は義務教育入学児童の激増から生じた教室難と今回の教員人事による切りつめられた教員数から教師不足に悩み。

結局市内の三学級を一学級に減じ、しかも三中に併設してかろうじて運営すると言う窮状に追い込まれたもの、このため五十名を越える市内の希望者受け入れにもやつとこの有様で三十余名に達する隣接町村からの入学希望者は一切お断わりだと言うせつかく信望を集めて来た成人学級に新策はないものかとの声もある。

市教育委員会談

「皆に喜ばれながら最も良い成績を収めている施設であるから何とか従来通り進めたいと願つているが、教室と教師を伴うものであるので現在のところどうにもならない」と語つている。

漁協組役員大會
漁業公社設立など協議

第四回県下漁業協同組合役員大会は、十九日午後零時から平市公会堂で、知事代理、蓮沼県会議長ら来賓臨席のもとに組合役員五百余名が集つて開らかれ次の議案を可決、終つて優秀船、漁業功労者の表彰を行つた。

議案▽福島県遠洋漁業開発公社設立の件（小名浜漁組提案）▽海難防止について（中村町漁組提案）▽深海底曳漁業試験操業について（福島県機船底曳振興対策協議会提出）▽福島県沿岸漁業調査船建造促進について（県機船底曳網漁連組提出）▽海難救済会員の傷害補償制度について（四倉機船底曳網漁組提出）

四倉瓦組合
役員を改選

四倉町瓦組合では二十日午前九時から同町好洋荘に於いて総会をひらき、組合長並に役員改選、瓦診断後の各業者の報告など協議する。

四倉土地役員会

四倉町土地改良区では二十日午前八時から役場に於いて役員会をひらき、定款其の他各種規約変更について協議される。

全炭労あす發足
委員長には武藤氏有力

常炭連と日砿との組織を統合する合同大会は廿一日午前十時から東京都飯田橋の富士紡績労働会館で日鉱会長田畑金光、常炭連会長武藤武雄両氏らはじめ幹部役員代表らが集つて行われるが。

規約、運動方針予算を協議、新組織名称を全国石炭鉱業労働組合（略称全炭労）として新発足する、更に役員選出後、国際砿夫連盟加盟、中小炭砿危機突破労働運動犠牲者制度等に関する議案を協議する。

廿二、三の両日は引続き渋谷公会堂で全炭労結成大会を開くが、常磐地区本部の結成は五月中旬になる見込みで、常磐地区委員長には武藤武雄氏の線が強い。

（写真は武藤武雄氏）

四倉理美容組
講習會開く

四倉方部（大浦、大野）理美容組合では十九日午前九時から四倉町公民館に於いて、組合員約三十名が集り、衛生講習会をひらいた。

五市土木課長會議
平市役所会議室で開く

県下旧五市土木課長会議は二十四、五日の両日平市役所会議室で開催▽公営建設三ケ年計画対策▽県営住宅敷地提供▽道路、側溝、舗装工事に対する受益者負担条例の件▽失対事業▽その他各市提案事項等について協議する。

四倉青年役員会

四倉町青年団では二十日午後七時から公民館で役員会をひらき、旅行見学並に会員名簿作成など協議される。

一万五千が參加
平地区の統一メーデ行事

平地区統一メーデーについて十九日平市労働会館で、磐炭労、常日砿、常炭連、国鉄など十単産の代表者が集つて実行委員会を開催した結果、一日は午前十一時から平工高校々庭に郡下廿八単産一万五千名が参加して行うことを決定した。

なお当日のスローガンは廿六日の委員会で決定する。

郡連青から脱退
旧磐崎村の磐崎青年会

常磐市旧磐崎青年会では、このほど磐崎支所会議室で緊急役員会を開催、「市連青を結成するか、郡連青を脱会するか？」について協議した結果、無記名投票を行い十四票対六票で郡連青脱退と決定した。

これでさきに脱退した藤原及び長倉両青年会と共に常磐市連合青年会を結成することになつた

波立薬師の
祭典行事打合せ

四倉町観光協会常任理事会では二十日午後一時から久之浜町田之網波立薬師堂会議場で、来月十日（旧四月八日）行われる波立薬師祭典行事について協議される。

磐城ス・ダンス

磐城スクエアダンス協会では二十五日午後一時から平第二小学校講堂でスクエアダンス講習会を開催することになり、一般の多数参加を希望している。

古河快勝
春のラクビー戦

古河好間対東北電力ラクビー戦は十七日午後一時から古河好間グラウンドで挙行、熱戦を展開したが前後半ともに古河の圧倒的勝利に終つた、戦績次の通り。

◇前半古河14―0東北電力

◇後半古河16―0東北電力。

勿來礦労組
廿九日三役改選

大日本炭砿労組（組合員一千六百名）の三役定期改選は廿四日立候補届出を締切り、二十九日全山無記名投票を行う。

天気予報

（明日）北西の風始めやや強く晴たり曇つたりの天気でしょう。

（海上）始め風波が高いが後おだやかになりましょう。

カバンは
福山

大谷石　本店
平五　井上
電六六

割烹
開花
田町　電一三八九

（東映）
花と龍
第二部 愛情流転
読売新聞連載
誰の血か玉井組の印はんてんを鮮やかに染めた唐紅！鞭が鳴る!!馬が飛ぶ!!昇り龍に嵐吹く!!第一部の昂奮を越えて愈々佳境白熱の第二部!!
火野葦平 原作　監督 佐伯 清

おなじみ東映明朗版
第三部 恋愛ジャズバンド
学生五人男
藤田 進「新東宝」
島崎雪子
波島 進
山根寿子
岸 恵子
21日―27日
民劇

☆☆☆ お知らせ ☆☆☆
二十一日（水曜日）は従業員慰安の為休業させて頂きます
銀座
松月堂

肖像画は [illegible]
菊水画房

!!開店お知らせ!!
経済恐慌の折柄中小企業者の為に今回左記地において四月二十日より貸金業を開店いたしました。市内の皆様是非御利用を御待ちいたして居ります
★信用貸 担保貸
（福貸金業受第三〇五号）
復興経済
平市六丁目　電一、六六三番

（映）
世界の溝口健二 森鴎外の名作、が取り組んだ文芸巨篇
山椒大夫
鬼のような山しょう大夫に鞭うだれながら
母恋し、父恋し、安寿恋し
ず子王の夢は
悲しくかけめぐる!!
田中絹代
香川京子
花柳喜章
進藤英太郎
岸井 明
伊藤雄之助
森繁久彌
トニー谷
21日より
世界館

絶対!!この上なしの破天荒豪華喜劇
爆笑!!こう笑!!苦笑!!大笑!!
喜劇界の王者 榎本健一 再起第一回作品
榎本健一
浜田百合子
笠置シヅ子
柳家金語楼

落語長屋は花ざかり

クレハロン工場起工式擧行
五十億を要する大工場

呉羽化学の姉妹工場として錦町中田呉羽化学西南地内に誘致決定した呉羽化成は今年初頭から二万一千坪に亘る敷地の整備を進めていたがこのほどほぼ完了したので二十三日午後一時から現場で工場建設起工式を挙行することになつた。

八月頃までには総工費五億円に達する第一期工事を完成操業する予定になつているが、同工場建設の全工程完成には五十億を要すると言われる大工場でもあるので常磐地方総合開発の進展とも併せ期待は大きい。

〝漁網材〟を製造

同工場はクレハロンと呼ぶ化学センイ製品特に漁網の生産に主力が向けられるとも言われるが、クレハロンによる漁網は海につけても水きれが良く、腐敗率が極度に減少されると言われ。

その完成時には資金難に阻まれる魚業振興面にも一役買うものとして期待される。

近くくみ取開始
内郷ふん尿問題

悩み抜いた炭砿街内郷の糞尿処理問題も予算五百万円を計上して真空式くみ取機大型一台、小型一台運搬三輪車一台、くみ取桶二十本の準備を整え町内五ケ所に貯溜槽を設置する計画で、すでに百石入れの貯溜槽宮沢、板宮の両字に完成、着々軌道に乗りつゝあるが。

受入れ村である夏井大野各村の準備もオーケーとあり、二十日ごろから本格的にくみ取を開始することになり町民から喜ばれ期待されている。

湯本公民館
教育部会開く

常磐市湯本公民館の教養部会は十七日午後六時から同館で二十八年度の運営評価会を開き。

▽教育部の活動方針は適せずであつたが活動始期は遅かつた。

▽経営は出来るだけ節約して比較的多数の事業行事を執行出来たのは部員の力に協よるものである。

▽学級に関しては振興法による発足に幾多の参考資料を提供することが出来た。

▽婦人学級は生活改善婦人教養に関する具体的課題をとりあげることが有効であることを経験した。

成人講座はPTAとの連絡を密にすることによつて実績をあげることを確認した。

▽広報活動と資料の準備に研究と工夫を要する。

▽部員の構成は敢えて多数にわたる必要はなく十名限度で有能の人を選ぶべきである。

▽その他婦人会青年会の連絡及びそれも団体育成に効果的な事業計画をすべきであり。

施設の利用改善等について工夫する必要があると反省結論づけられ今後はこの評価に基いて合理的な活動を展開する必要性があると強調された。

四十万圓の空巣
現金八万円外衣類など

十六日午後一時から十七日午前二時ごろにかけて平市塩字中野町二農業佐藤真之助さん(四七)方の不在を見はからつて賊が侵入、六畳間の洋服タンスから現金八万円、背広など衣類六点、四万円相当、五万五千円在中の預金通帳、二十四万円需込みの積立証書など総額四十二万円相当を盗まれ、平市署に届出た。

専門委員を決定
常磐開發理事會開かる

常磐地方総合開発期成同盟会理事会は二十日午前十時半から石城地方事務所会議室に県開発顧問として磐城水利開発調査に当つている地質学の権威林将治氏を初め、蓮沼県会議長、荒沢県開発局次長、地元市町村長らが参集して開会。

二十九年度会費分担や二十九年度より三ケ年計画で開発に乗り出す水利事業費十億円の資金調達方法等について協議、更に懸案の各部専門委員会委員を次の通り決定した。

各部の専門委員
市町村長議長らを網羅

▼水利　蛭田三郎、鈴木栄一、長瀬彰義、井沢保、大和田嘉男、新妻長太、渡辺国之助、山崎登、合津義雄、山県孝雄、中田佑一郎、青木半次郎、菅原三義、溝井正二、佐藤清司、平子太門、矢吹荘司、生田目忠平、森合芳男、荒川久馬、金古政通、大場国雄、内田藤吉、阿部崇順、鈴木長治、折笠鬼子太郎、坂本太平治、渡辺重彌、高木信定、越田和文雄、飯島隆俊、高木保、草野寅伊、逸見万吉、三国けん治、塩沢軍太郎、金成浅治。

▼道路　鈴木栄一、青木半次郎、緑川孝徳、井沢保、但野武義、蛭田三郎、荒川久馬、佐藤広治、小斎要三郎、花沢乙丸、西山恵一、金古政通、曽本三義、戸田文雄、鈴木隆衛、沼田一夫、長瀬彰義、飯島隆俊、内田藤吉、佐藤清司、阿部崇順、平子太門、青天目信治郎、矢吹盛保、駒木根祐次、片寄勇、越田和文雄、坂本惣次郎、鈴木長治、渡辺国之助、生田目忠平、草野米彌、合津義雄、草野寅伊、逸見万吉、矢吹荘司、草野市平、佐久山保三郎、比留間豊、新妻長太、鈴木正一、鈴木重次、小野善太郎、佐藤一郎、野崎満蔵、越田和文雄

▼平小鉄道　中田佑一郎、飯島隆俊、浦田文二郎、桑原彌寿雄、金古政通、井沢保、黒川喜一郎、長瀬彰義、杉田徳四郎、清水達雄、大場国雄、遠藤専、阿部政右エ門。

▼港湾　中田佑一郎、伊藤甫、遠藤専、鈴木常松、長瀬彰義、花沢乙丸、根本泰三、三代義勝、佐藤広治、青天目信治郎、西丸猛、黒川喜一郎、井沢保、渡辺国之助、浦田文二郎、鈴木福太郎、長谷川長太、小松圭次郎、正木勉、大平多次郎、吉田義。

▼産業　西山恵一、沼田一夫、金古政通、越田和文雄、長瀬彰義、緑川孝徳、大場国雄、飯島隆俊、井沢保、溝井正二、中谷陸奥男、斎藤俊男、但野武義、花沢乙丸、鈴木隆衛、大和田嘉男、坂本惣次郎、鈴木正一、青天目信次郎、渡辺国之助、鈴木重次、矢吹盛保、折笠鬼子太郎、三国けん治、山崎登、根本泰三、草野市平、小野善太郎、駒木根祐次、塩沢軍太郎、草野米彌、佐久山保三郎、佐藤一郎、片寄勇、秋竹守一、太田竹二郎、田子辰雄、山県孝雄。

平の植樹祭

緑の週間を記念する平市の植樹祭は二十日午前十時から石城地方事務所前の新設街路で、諸橋市長始め市議及び関係者多数が参加して挙行、いちよう四十本を植樹、終つて市公会堂日本間で鈴木正男本社社長ら緑化協力功労者を表彰した。

映画は世界館

平駅で盗難

平市白銀町六無職矢島恵子さん(三三)は二十日午前九時五分ごろ平駅待合室改札口脇腰掛の上に置いた現金五百五十円在中の風呂敷を置引された。

綴に子供遊園地
五月五日に開所式行う

常磐線と県道及び常磐炭砿の電車線路でかこまれている貧民くつで約三百戸の住宅が密集し交通量の激しい綴字一ノ坪地内には子供の遊び場がなく、遊興街の一角をなしているだけに犯罪発生場所と知られ悪環境下にあるので。

綴第五部落館主任斎藤正夫氏らが発起人となつて子供遊園地(四十坪)を設置しようと予算約十九万円を計上して今年初め工事に着手、四月二十日現在で第一期工事計画がほぼ完成、第二期工事計画に着手する運びとなり部落の子供達の喜びは一通りでなく、五月五日子供の日の開所式が待たれている。

◇第一期計画の施設は遊動円木、鉄棒、ぶらんこ、滑り台、シーソウ、砂場など。

◇第二期計画は機械ブランコ、門柱、腰掛、東屋などが施設されることになつている。

比較的好調
四月競輪前節

四月平競輪前節三日間の総売上げは二千三十九万三千四百円で雨に見舞れながら比較的好調、前節三日目には七百六十七万一千四百円の好売上げを示し。

配当も五レースに二―一で五千百八十円、七レース女子優勝では三―四で五千十円、九レースでは三―四で三千六百十円と好配当にファンを沸せた。

常磐市で
市制祝賀準備会

常磐市では二十一日午後一時から市会議室に市議会各部常任委員長が集つて市制祝賀準備委員会を開き、祝賀の日程行事などについて打合わせを行う。

子豚盗難

去る十七日午前二時ごろ大野村戸田字五反、精米業菅波政寿さん(四三)方で豚小屋から生後一ケ月の子豚六頭(時価三万円相当)を盗まれているのを早朝家人が発見、警部補四倉派出所に届け出た。

犯人は養豚に経験のある者の仕業らしい。

平に赤痢発生

平市谷川瀬上田四六高橋洋君(一〇)好間村上好間字小館南炭砿運搬夫村上溜七(三三)の両名は二十日赤痢で隔離。

戸籍事務協議会
優良者表彰

平戸籍事務協議会では二十一日次の優良戸籍係を表彰する。

磐城市書記若松文子、磐城市書記補伊藤まり子、双葉郡刈野村書記鶴巻まり子、平市雇瀬谷雪枝、赤井村書記補鈴木フヂエ。

警官に暴行

内郷地区署では内郷町綴無職朴昌根(三二)を傷害公務執行妨害、同字日雇利川鎭五こと徐鎭五(三三)を公務執行妨害、同字日雇袁起斎(三三)を公務執行妨害外国人登録令違反の疑いで十九日身柄を送検した。

これら三名は去る十七日同町金坂魚行商小貫カネヨさん(四四)方に警らに赴いた同署小林武雄巡査に朴が〝何しにきた〟と因縁をつけて傷を負わせたもので、三名とも平事件の被告者である。

常磐市に辻強盗
湯本署でスピード検挙

二十日午前二時ごろ常磐市に発生した二人組強盗事件を捜査中の湯本地区署は同日正午ごろ市内をうろついていた常磐市生れ住居不定無職前二犯小林定雄(三二)同前一犯渡辺辰雄(三五)の両名を有力容疑者としてスピード検挙取調べたところ犯行一切を自供した。

両名は同日午前二時ごろ常磐市湯本字吹矢地内県道を通行中の相馬郡鹿島町上町小林定雄さん(一八)に刃渡り六寸くらいの短刃を突きつけ「金を出せと」強要ことわられるや同人の着ていたセーター一着と現金千円を強奪逃走していたもの。

ラジオは古山

映画は民劇

内郷町で
固定資産評価会

内郷町固定資産評価審議委員会は二十一日午前九時から第一回会合をひらき、役員選出後固定資産評価についての審査に意義あるとの審査請求があつたため、これについて協議する。

★14日ヨリ20日マデ★

世界館	民劇	ひかり座	平館
夜の部六、五八	夜の部七、二〇	夜の部七、二五	夜の部六、二五
金色夜叉	血桜判官	坊ちゃん社員	女の園
月夜桜	学生五人男（二部）	乱暴者	ひよどり草紙
ブルーの仲直り			

今週の映画案内

家庭の事情
馬鹿じゃなかろうかの巻
21日より
泣いて暮すなんて
馬ッ鹿じゃなかろか
トニー・谷
重山規子
伊吹友木子
同時上映
高田の馬場
ウツカリ夫人とチャツカリ夫人
佐野周二
久慈あさみ
灰田勝彦
東郷晴子
ひかり座

公開
21日ヨリ
江戸城大奥に秘められた濃艶な愛欲地獄
春色お傳の方
江戸城炎上
宮城千賀子
長谷川裕見子
花井らん子
中村扇雀
同時上映
鯉名の銀平
女にほれない旅寝のやくざが一生一度の恋を散らした下田の港!!
大谷友右エ門
乙羽信子
田崎潤
進藤英太郎
次週二十八日より
真実一路
御期待を乞う
平館

味自慢
江戸前
割烹
小料理
◇仕出し承ります◇
和洋食
特製支那そば
◇出前迅速◇
求料理見習
16才…20才位
奈加や
才槌小路電395

日光 鬼怒川 川治温泉(二泊)
見学団体募集
優秀ロマンスカーの旅
一、期日　四月二十八日二十九日(水祭日)　五月十五日十六日(土日)
一、会費　お一人様金二、二〇〇円(拝観料乗物代宿泊料等を含む)
一、募集人員　毎回二十名
一、コース　日光、中禅寺湖、鬼怒川、川治(泊)　白河、南湖(一級旅館泊)
満員の節は期日前締切致します
常磐交通内
常磐観光社
電三四三　三三三